

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項
話すこと・聞くこと	一	一	1	話し手が伝えようとしている内容の中心を考えながら聞くことができる。				
		二	2	分かりやすく伝えるために、話し手がどんな工夫をしているかを考えながら聞くことができる。				
		三	3	話し手がどのような理由で、意見を述べているかを考えながら聞くことができる。				
		四	4	話し合いの進め方の工夫を考えながら聞くことができる。				
		五	5	自分の考えを分かりやすく伝えるために、立場や理由をはっきりさせて書くことができる。				
読むこと	二	一	6	登場人物の気持ちを想像しながら読むことができる。				
		二	7	文章の構成を考えながら読むことができる。				
		三	8	物語のあらすじを考えながら読むことができる。				
		四	9	物語のすぐれた表現に目を向けて読むことができる。				
		五	10	目的に応じて、必要な図書資料を選ぶことができる。				
書くこと	三		11	グラフをもとにして、書く必要のある事柄を選び、自分の考えとその理由を区別して書くことができる。				
書くこと	四		12	目的や様式に応じて、必要な事柄を選んで、文章を書き換えることができる。				
言語事項	五	(1)	13	6年生までに習った漢字を正しく読むことができる。				
		(2)	14					
		(3)	15					
		(4)	16					
		(5)	17					
	六	(1)	18	5年生までに習った漢字を正しく書くことができる。				
		(2)	19					
		(3)	20					
		(4)	21					
		(5)	22					
	七		23	指示語の文脈の中における働きを考え、指示語の指し示す内容を選択することができる。				
	八		24	調べたい事柄について、漢字辞典の効率よい調べ方を選択することができる。				
						/ 4	/ 3	/ 5

今後の学習に向けて *自分ががんばりたいところに を付けたり、下線を引いたりしましょう。

「聞くこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 「どのような考えが、どのような理由で話されているかを考えながら聞く」「自分の考えと、どこが同じで、どこがちがうかに注意して聞く」「話し方や話し合いの進め方の工夫を考えながら聞く」など、国語の授業で学習した聞き方について、復習しましょう。 国語の授業で学習した大切な聞き方を、授業中の先生や友だちの話を聞いたり、家の方の話を聞いたりなど、毎日の生活にも生かしましょう。
「書くこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、どのような考えを書くのかをはっきりさせましょう。その上で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、自分の意見とその理由を別々の文で書くようにしましょう。 一度書いた文章を、読む人になったつもりで、伝わりにくいところを書き直すことも大切です。また、書いた文章を家の方に読んでもらい、よりよい文章になるように教えてもらいましょう。 家庭においても、教科書の文章を視写したり、日記を書いたり、新聞を読んだ感想をまとめたりするなど、自分が毎日できる書く学習を決めて取り組みましょう。
「読むこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 物語を読むときには、まず大まかな話の流れをつかみましょう。そして、場面の様子や気持ちを表す言葉に注目しながら、登場人物がどのような気持ちで話したり行動したりしているのかを想像しながら読み進めていきましょう。 国語の読みの授業で、自分の考えを進んで発表したり、友達の考えと比べて聞いたりしながら自分の考えを深めるようにしましょう。 家庭においても、国語の教科書を何度も声に出して読んだり、授業の内容をまとめ直したり、ノートに読み取ったことを書いたりするなどの学習に取り組みましょう。 学校で学習した物語の同一作者やテーマにそって、学校や地域の図書館で本を借り、学校や家庭で進んで読書をする習慣を身に付けましょう。
「言語についての知識」を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> 漢字については、国語の時間だけでなく、他の教科の授業や毎日の生活の中で、読み方がわからない場合は辞書などで確かめたり、学習した漢字を使って書いたりするように心がけることが大切です。 家庭学習においても、進んで漢字練習に取り組み、読んだり書いたりするとともに、その漢字が使われる単語にはどんなものがあるかにも注意しましょう。